

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載 して行います。 [公告掲載の当社ホームページ] http://www.next-group.jp/

投資家向けサイト(IRサイト)のご案内

当社では、株主の皆様向けにIRサイトを設けております。リリース情報、月次開示資料、決算説明会の動画配信などの最新情報を公開しております。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。どうぞお気軽にアクセスしてください。

<http://www.next-group.jp/ir/>

IRサイト優秀企業に選ばれました!



大和インベスター・リレーションズ株式会社発表、IRサイト優秀企業として「インターネットIRサイトの優秀企業580社」に選ばれました。



ゴメス発表、「Gomez IRサイトランキング 2009」IRサイト優秀企業として新興市場部門第3位を受賞いたしました。

株式会社ネクスト

〒104-6215
東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟15階



NEXT CO.,LTD.



第14期 株主通信

2008年4月1日～2009年3月31日

特集

情報の信頼性を高めるための 取り組みとは?

株式会社ネクスト

証券コード：2120

撮影協力：ロイヤルハウジング販売株式会社 月島駅前店様

経営理念

常に革進することで、より多くの人々が
心からの「安心」と「喜び」を得られる
社会の仕組みを創る

INDEX

株主の皆様へ……………03	第14期ハイライト……………09
業績の概要……………03	株主アンケート集計結果のご報告…11
その他のセグメント情報…05	株式情報／会社概要……………13
特集……………06	

株主の皆様へ



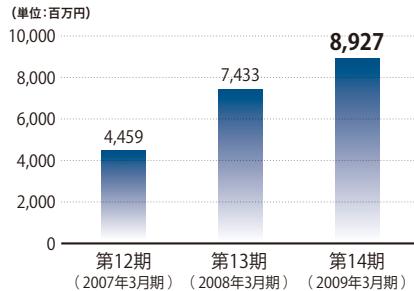
代表取締役社長

井上 高志

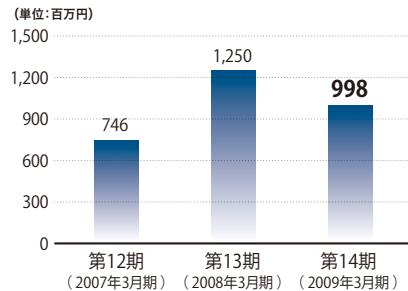
加盟店舗、利用者の支持のもと「HOME'S圧倒的No.1戦略」をさらに加速してまいります

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、当社第14期(2008年4月～2009年3月)が終了いたしましたので、ここにご報告書をお届けするとともに、事業の概況についてご説明いたします。今期(第14期)におきましては前期(第13期)株主通信でお伝えさせていただいた通り、増収減益となりました。今期は「HOME'S 圧倒的 No.1戦略」を掲げた中期ビジョンの1期目にあたり、投資フェーズの位置づけで事業を行ってまいりました。その結果、連結での業績は、売上高89億27百万円(前期比20.1%増)、営業利益9億98百万円(前期比20.1%減)となりました。また、創業後初めてとなる配当を実施させていただきました。配当額は1株当たり210円とさせていただきます。来期(第15期)につきましては、不動産ポータル事業を軸に、これを支える周辺事業をさらに拡大してまいります。中期ビジョンの成長フェーズとして「HOME'S 圧倒的 No.1戦略」を推進し、加盟店舗数の獲得ペースを加速。さらなる成長と収益性を追求し、企業価値の最大化を図ってまいります。株主の皆様には、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

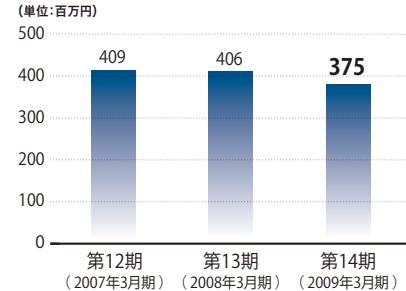
連結売上高



連結営業利益



連結当期純利益



業績の概要

Q. 今期(第14期)の事業の結果と、その背景について教えてください。

A. 期初計画通り、増収減益となりました。

今期は不動産市況の悪化により、当社の顧客において店舗統廃合や倒産などに至ったケースがありました。そうした状況にもかかわらず、売上高は着実な積み重ねによって増収となりました。メインサービスである「賃貸」市場では不況の大きな影響を被ることなく、収益源となる加盟店舗開拓ペースの加速に伴い、順調な伸びを達成しました。主力事業の不動産ポータル事業は堅調に売上を伸ばし、加えて賃貸保証事業も順調に売上を伸ばした結果、大幅な増収となりました。

その一方で、「HOME'S 圧倒的 No.1 戦略」実現のための1期目として、人件費・広告宣伝費などの先行投資を実施しました。当社の今期末連結従業員数は前期末比91人増加の525名となりました。また、広告宣伝費ではテレビCM、交通広告、雑誌広告、WEB広告など多岐にわたる媒体を用いて、ブランド力向上に向けた活動を行いました。これらの結果、連結営業利益は9億98百万円(前期比2億52百万円の減益、20.1%減)となりました。

Q. 今期実施した主な取り組みについて教えてください。

A. 全国エリアでの加盟店舗の開拓と広告宣伝費への投資を行いました。

「HOME'S 圧倒的 No.1 戦略」の1期目として、ほぼ想定通りの結果を達成しました。「賃貸」「不動産売買」サービスでは日本全国をカバーするために、加盟店舗の開拓に注力しました。

2008年5月には名古屋営業所を新設。前述の件費の先行投資により、賃貸流通事業部の営業員を45名から76名に増員し、大都市圏を中心として営業活動を展開しています。その結果、全国各地での加盟店舗が増加し(四国エリアを除く)、1年間で1,359店舗増となる10,120店舗の加盟店舗数となりました。これは全国の不動産店舗数約25.5万店舗(推定)の約4%をカバーする計算です。加盟店舗の純増数で見ても、前期は1,028店舗増だったものが1,359店舗増に伸びています。前期比33.2%増の331店舗増となり、増加のペースも加速しました。今後も大都市圏のみならず地方エリアの深耕に積極的に取り組んでいきます。

2番目の取り組みが広告宣伝費への投資です。広告活動ではインターネットのリスティング広告を強化し、またモバイル広告とSEMへの集中投資を行いました。そのほか、ブランディング活動としてテレビCM、交通広告*など多岐にわたる媒体を活用。モバイルサイト流入施策も強化しています。これらに投資した結果、モバイルを含むWEBサイトへの来訪者数(ユニークユーザー数)が倍増。メールや電話によるお問い合わせ数も増加しました。これらが売上高の伸張につながっています。

* 全国で展開した交通広告



▲ ラッピングバス



▲ 駅広告

Q. 来期(第15期)はどのような経営方針を打ち出していますか。

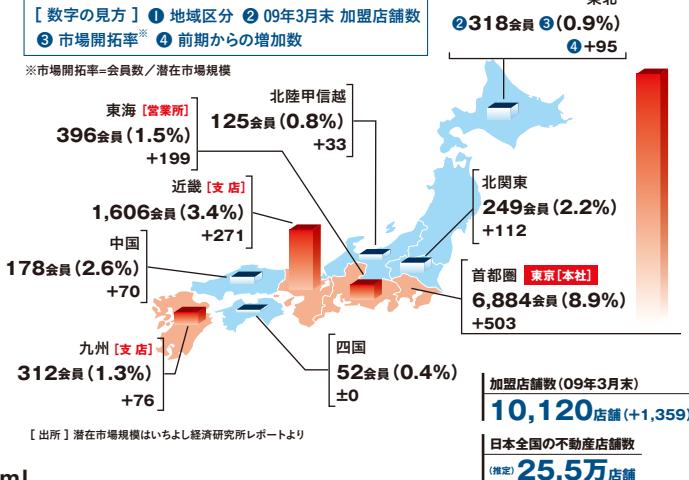
A. 加盟店舗数獲得ペースのアップと、顧客フォロー体制の一層の強化を実施します。

来期は「HOME'S 圧倒的 No.1 戦略」の2期目として、主に2つの取り組みを行います。

第1は加盟店舗数の増加です。引き続き日本全国での開拓を行ないつつ、特に人口が多く、人の動きも活発な首都圏と大都市圏を中心に営業活動を展開。効率的な営業によって加盟店舗獲得のペースアップを目指します。このほか、お問い合わせ数増加による媒体価値向上や、不況の影響を受けにくい賃貸市場への注力などを実施し、No.1に向けた急速な歩みを進めていきます。

第2は組織変更による体制強化です。2009年4月より編集部、技術・開発部、および既存顧客をフォローする部署を新設しました。加盟店舗に対するきめ細かな対応を強化し、顧客満足度の向上による退会抑止と加盟店舗数増加を目指します。また、オプション商品の提案販売による加盟店舗単価向上も推進します。さらに今期まで赤字だった賃貸保証事業の黒字化達成も見込んでいます。これらを通じて、来期連結での業績は売上高112億66百万円、営業利益17億16百万円、当期純利益10億93百万円を見込んでいます。

【加盟店舗数の分布図と潜在市場規模】



その他のセグメント情報

・地域コミュニティ事業

モバイルに注力し、
会員数100万人突破を目指します **Lococom**

地域コミュニティ事業は現在、月間116万人(2009年3月)が訪れる地域コミュニティサイト「Lococom(ロココム)」を核として展開しています。今期(第14期)から「Lococom」と「HOME'S」との相互乗り入れを開始しました。「HOME'S」サイト内から、「Lococom」の周辺地域情報などへのアクセスが可能になり、シナジー効果の向上を図っています。

「Lococom」の会員数も32万人(2008年3月末)から50万人(2009年5月14日現在)へと大幅に増加しました。主要SNSサイトを例にとると、一般的に会員数100万人を超えた時点で成長スピードが加速しています。そのため「Lococom」に関しても来期(第15期)は100万人突破を目標としています。コミュニティサイトとしてのさらなる活性化を目指して、モバイル機能の充実化を行う計画です。

☞ <http://www.lococom.jp/>

【セグメント別売上の推移】

	第14期	第15期(予想)
不動産ポータル事業	8,183	10,034
地域コミュニティ事業	26	51
賃貸保証事業	278	810
その他事業	438	368
合計	8,927	11,266

(単位:百万円)

・賃貸保証事業

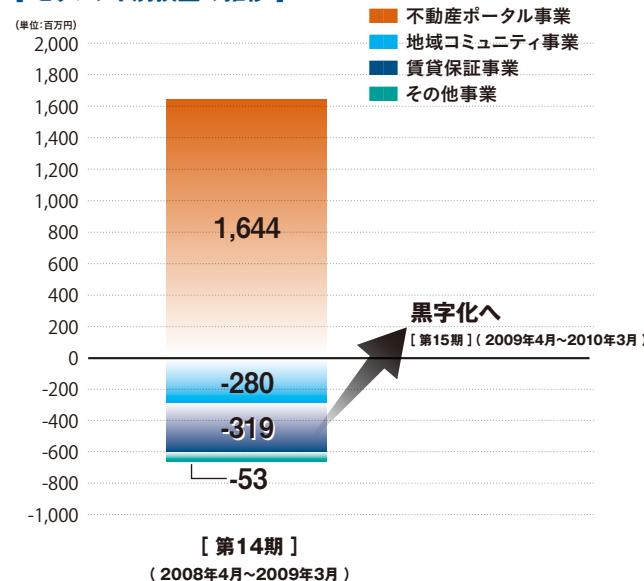
契約者大幅増と体制の強化により
通期黒字化を見込んでいます



事業開始から2年連続で営業損失となった賃貸保証事業。しかし、開始から1年半が経ち、契約者数が順調に増加しています。創業期を経た現在、事業が着実に波に乗ってきました。賃貸保証事業の社員数は50名となり、コールセンター業務効率化などの体制強化や、債権回収率の向上などに取り組んでいます。来期下期には月次で損益分岐点を超える見込みとなりました。売上高は今期の2億78百万円から、来期には8億10百万円(前期比5億32百万円の増収、191.4%増)へと、大幅に拡大する見通しで、通期での黒字化を達成する計画です。また法令遵守もさらに徹底し、引き続き契約者が安心して活用できる事業展開を行っていきます。

☞ <http://www.next-fs.jp/>

【セグメント別損益の推移】



特集

不動産情報の審査に関する取り組み

インタビュー ≫ 業務統括本部 業務サービス部 情報審査グループ

正確かつ公正な情報提供でHOME'S利用者を守るために、 一歩先を見たチェック体制づくりを行っています。

「住宅・不動産情報ポータルサイト HOME'S」に掲載されている物件情報の正確性・公平性を保つために、当社では情報審査を行う専門部署を設けています。

今回は、そこで活躍する社員の業務内容や仕事への思いをご紹介します。

【サイトの信頼性向上に 欠かせない仕事です】

Q. まずは情報審査グループの役割を教えてください。

A. HOME'Sに掲載される情報を消費者の視点からチェックし、正確かつ公正なものにすることが、情報審査グループの最大の役目です。情報の不備や誤記が原因でトラブルが発生すれば、HOME'S利用者に大きな不利益を与えるだけでなく、不動産会社やサイトへの信頼性も大きく損なわれてしまいます。逆にサイトの信頼性に対するHOME'S利用者の評価向上は、当社の業績にもつながると考えています。

【原因を追究するために 現地を調査することも】

Q. サイトの掲載物件数が膨大ですが、それを何名でチェックしているのですか？

A. 現在は8名体制ですね。業務は「社内チェックチーム」と「問い合わせチーム」に分かれています。「社内チェックチーム」では不

動産会社が掲載した情報に問題がないかどうかを、HOME'S利用者がサイトを閲覧する前にチェックしています。一方、「問い合わせチーム」では内容に誤りがある物件広告に関して、不動産会社に照会。場合によっては現地に出向いて確認しています。近隣に住む方に情報提供を求めることもあります。

Q. 業務効率化の工夫もあるそうですね。

A. 社内の技術チームの協力で、物件データベースと連動したメールテンプレートを開発しました。それは、不動産会社やHOME'S利用者から問い合わせがあった際に、物件IDを打ち込めば該当物件情報が表示されるというもので、効率化につながっています。

Q. 掲載内容に問題があった場合にはどうなるのですか？

A. 問題の内容によってペナルティーポイントが加算される仕組みです。一定のポイントに達すると、その会社からの広告は一定期間掲載できません。違反内容が悪質な場合に

は、取引停止もありえます。

Q. なかなか厳しいですね。

A. 当社は情報基準を厳格に運用し、正しい情報を社会に提供できる体制を整えることを重視しています。

Q. とても徹底していますね。HOME'S利用者からのクレームにはどのようなものがあり、どう対応していますか？

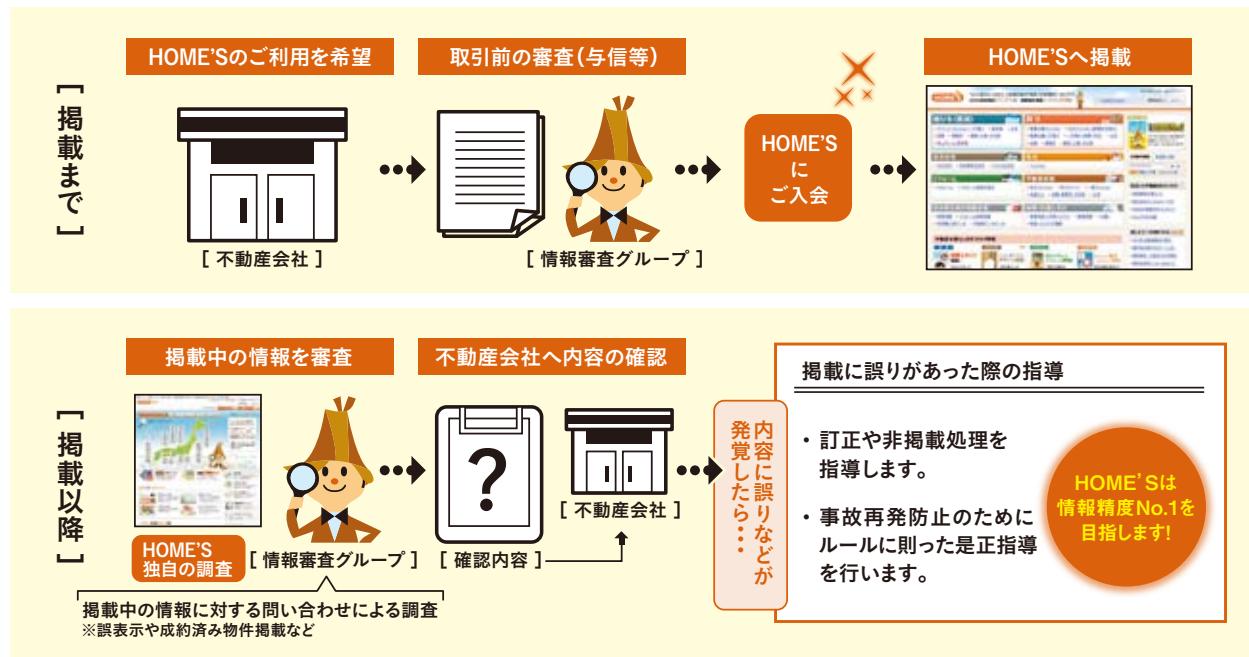
A. ほとんどは家賃の金額や部屋の広さが実際と違うといったケースで、数字の入力間違いなどのケアレスミスが原因です。しかし、時には架空物件や契約済み物件などを集客に使うケースもあります。そういった場合、即日対応が基本です。現地調査が必要な場合も3日以内の解決が原則。速やかな対応でHOME'S利用者から感謝の言葉をいただくと、とてもやりがいを感じますね。

【ミスが発生しないように 先手を打った対策が大事】

Q. 日々の業務で意識していることは？

A. 問題のほとんどは不動産会社側のケアレスミ

情報審査グループの一連の業務



スや、広告掲載に関する知識不足が原因です。大切なのはミスの本質を見極めて、先手を打って正しく掲載していただけるようにすること。それがサイトを運営する当社の使命です。なかには指摘を受けた会社が自主的に業務内容の見直しを行い、結果的に大きな業務改善につながった例もあります。不動産会社側の意識も高まってきましたね。最近では、HOME'S利用者が安心してご利用いただけるように、「HOME'S住まいのアドバイザー認定店制度」を実施しています。HOME'Sでの物件掲載実

績が1年以上あり、HOME'Sの情報審査規約に抵触する行為がなかった不動産会社を、認定店として選出する取り組みです。

Q. 最後に、今後の目標を教えてください。

A. 情報審査の質も量もさらに向上させて、間違いのない情報の提供を行っていくことです。目標はやはりオールクリアな広告サイト。情報精度 No.1を目指します。正確かつ公正な情報提供でサイトの信頼性をさらに高めたいですね。

情報審査グループとは…

『HOME'S』の各サイトに掲載されている住宅・不動産情報の内容を審査するセクション。法令を遵守し、不動産業界の情報管理に対する意識向上を目指した活動を行っています。

関連情報ページ <http://www.next-group.jp/csr/special/>

HOME'S住まいの アドバイザー認定店

2009年版の認定店には4,584店舗を選出し、認定店シールを配布いたしました。シールは、全国の認定店で店頭へ貼付して活用いただいております。協力体制の強化を図っています。



認定店シール



第14期ハイライト

事業の拡大のみならず、人を、地域を支援する。
1年間を通じた私たちの歩みをご報告します。

2008

- 2008.4.6
ホームスタで「住まい探しならHOME'Sデー」を開催

当社がスポンサーをしているJIヴィッセル神戸 vs. 東京ヴェルディ戦に向け、「HOME'S スタジアム神戸」にて、冠スポンサーイベントを開催しました



- 2008.7.17
「Lococom」、新サービス
「Lococom地域社会活動」の提供を開始

地域住民とNPO・ボランティア団体との架け橋となり
地域活性化を支援しています

- 2008.7.24
国内最大級、全国2万件以上の高齢者施設・
住宅情報を集めた専門サイト、「HOME'S介護」開設

掲載数・明快な価格表示・徹底したユーザビリティで、
拡大する需要に対応しています



- 2008.7.25
「HOME'S不動産売買」、
中古不動産情報サイト評価で総合第1位を受賞

利用者視点の使い勝手のよさが評価されました



- 2008.8.22
NPO法人「じぶん未来クラブ」に
4社共同企画として協賛

ビジネスのおもしろさや、働くことの意義を伝える
「お仕事探検隊」プロジェクトで小学生と大学生が
当社にやってきました



- 2008.9.1
「ホシノドリームズプロジェクト」への協賛を開始

- 2008.10.9
第6回「日本テクノロジー Fast 50」で29位を受賞
過去3年間に173%の売上高成長を記録し、4年連続で入賞しました

- 2008.10.29
「Lococom」、大幅リニューアルを実施し
「HOME'S」との連動を開始

地図上から、HOME'S掲載物件の
閲覧が可能になり、さらに相互で地
域の口コミやお店・施設・求人情報
等の閲覧が可能になりました



2009

- 2009.1.7
「HOME'S住まいのアドバイザー認定店2009」制度実施

厳密な審査により、情報精度 No.1 を目指しています

特集 不動産情報の審査に関する取り組み P06~



- 2009.1.17
若手起業家顕彰プログラム
「NEXT ENTREPRENEUR 2008 AWARD」を開催

次世代を創る若手企業家の発掘に貢献しています



- 2009.2.3
「HOME'Sマーケットレポート」の発行を開始

日本最大級の住宅・不動産情報データベースより、
首都圏における「賃貸」・「流通」のマーケット情報を
毎月無料で提供しています

- 2009.2.3
「Lococom」、経済産業省の
「地域経済産業活性化対策調査」を受託

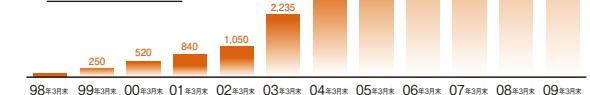
近代化産業遺産に関わる33のストーリーを
「Lococom」で公開しています



- 2009.3.17
業界初! 「HOME'S」
加盟店舗数10,000店舗を達成

これからも不動産業界の革新を目指し、
さらなる発展に貢献してまいります

加盟店舗数推移



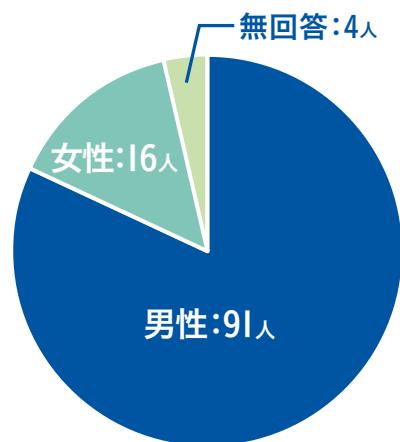
株主アンケート集計結果のご報告

「第13期株主通信」にて実施いたしましたアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。
多くの株主様から貴重なご意見・ご要望を頂戴することができました。

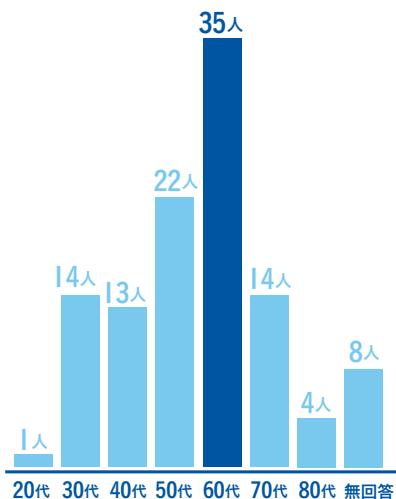
アンケートの回答の中から、今回は4項目についての集計結果をご報告します。

回答者数：111名 2008年3月末の株主様2,806名中、111名の株主様から回答をいただきました。（回答率：4.0%）

男女構成比

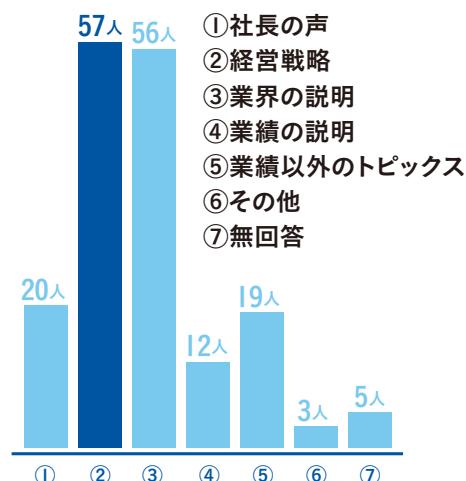


年齢構成比



IRにどんな情報の充実を希望するか

(複数回答)



「経営戦略」と「業界の説明」「社長の声」に関するご要望を多数いただきました。コーポレートサイト、株主通信、ネクストIRニュースなどを通して、今後もネクストグループの取り組みを詳しくお伝えしてまいります。

👉 アンケートでいただきましたご意見についてご報告いたします。

Q. 株主還元策について教えてください。



A. 2009年2月10日に、第14期末より配当を実施する方針を発表いたしました。1株当たりの配当金を210円とさせていただきます。また、自己株式の取得も実施いたしました。どちらも創業来、初の実施となりました。発行済み株式総数に対し4.2%保有し、資本効率の向上を図っております。

Q. 第14期に実施したIR活動を教えてください。



A. 第14期に行った活動は次の通りです。前期は半期ごとの開催だった機関投資家向け説明会を、四半期ごとに開催いたしました。また個人投資家説明会については、前期は東京・大阪で計3回開催しましたが、第14期には東京・札幌・名古屋・福岡にて計6回開催いたしました。説明会の要旨や質疑応答の内容は、コーポレートサイトで情報開示を行っています。さらに、IRフェアへの参加(年2回)、ネクストIRニュースの配信、動画配信などの取り組みを初めてスタートいたしました。

Q. 社内状況や社員の声を知りたいです。



A. 今回の株主通信ではP06-P08の特集で「不動産情報の審査に関する取り組み」について取り上げています。情報精度の向上に努める情報審査グループでの取り組みに関して、日ごろ表舞台には登場しない社員の声をお伝えいたしました。今後は、株主通信で取り上げるだけでなく、コーポレートサイトでも社員や社内の雰囲気が伝わる記事を増やしていく予定です。

その他にも、「株主として今後も応援します」「『顧客目線に立ったサービス』というポリシーに共感しました」「ネクストが広く世に知られ、利用される時代が到来するのを心待ちにしています」といった温かい励ましのお言葉をいただきました。一方で、株価低迷に対する厳しいご意見も頂戴いたしました。一つひとつのご意見を真摯に受け止め、ネクストグループの経営、今後の情報発信に活かしてまいります。

[その他のアンケート結果は、当社WEBサイトにてご覧いただけます。]

<http://www.next-group.jp/enquete/result/tsushin13.html>

ご協力ありがとうございました。

株式情報 (2009年3月31日現在)

株式の状況

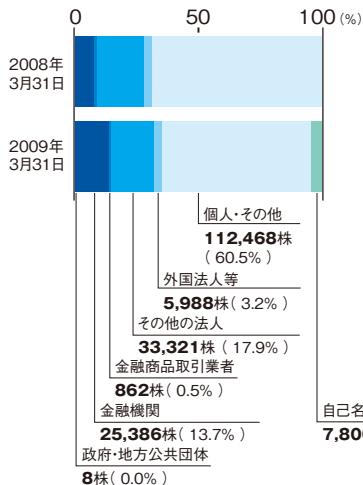
発行可能株式総数	584,088株
発行済み株式総数	185,833株 (うち、自己名義株式 7,800株)
株主数	株主数 前期比 1,735名 / ▲1,071名

大株主の状況

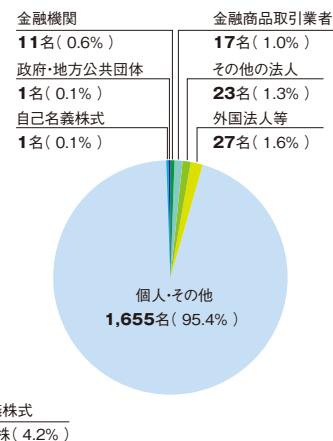
	株主数	持株比率
1 井上高志	74,933	40.3%
2 楽天株式会社	30,000	16.1%
3 成田隆志	17,856	9.6%
4 日興シティ信託銀行株式会社 (投信口)	9,343	5.0%
5 株式会社ネクスト (自己株式)	7,800	4.2%
6 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,746	4.2%
7 日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,139	3.3%
8 エイチエスピーシーファンドサービスズパークス アセットマネジメントコーポレイテッド	3,246	1.8%
9 ネクスト従業員持株会	1,543	0.8%
10 須田正己	1,310	0.7%

株式分布状況

株式数別分布



株主数別分布



会社概要

商号 株式会社ネクスト (NEXT Co., Ltd.)
 証券コード 2120 (東証マザーズ)
 WEBサイト <http://www.next-group.jp/>
 本社 〒104-6215 東京都中央区晴海 1-8-12
 晴海アイランドトリトンスクエア
 オフィスタワーZ棟 15階
 資本金 1,984百万円 (2009年3月31日時点)
 設立 1997年 (平成9年) 3月
 従業員数 525名 / +91名 (グループ連結、派遣・アルバイト社員含む)
 (2009年3月31日現在)

事業内容

不動産ポータル事業
 地域コミュニティ事業
 賃貸保証事業
 その他事業

※前期まで区分表示していた広告代理事業は、金額の重要性が乏しくなったため、その他事業に含めることといたしました。

支店・営業所 役員

大阪・福岡・名古屋
 代表取締役社長 井上 高志
 取締役常務執行役員 板谷 隆一
 取締役執行役員 成田 隆志
 取締役執行役員 森野 竜馬
 取締役執行役員 浜矢 浩吉
 社外取締役 三木谷 浩史^{*1}
 常勤監査役 塚田 滋^{*2}
 常勤監査役 長谷川 隆^{*2}
 監査役 島村 達夫^{*2}
 監査役 松嶋 英機^{*2}

(注) *1 印は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 *2 印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

連結子会社

株式会社ウィルニック
 株式会社レントーズ
 株式会社ネクストフィナンシャルサービス

[関連情報ページ](#)

<http://www.next-group.jp/ir/stock/stockholders.html>

株主アンケートのお願い

今後のIR活動の参考にさせていただくため、アンケートを実施させていただくこととしました。株主の皆様には大変恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。アンケートへの回答は、同封のハガキにご記入の上ご投函いただくか、WEBでも回答いただけます。(WEBアンケートはこちら→<http://www.next-group.jp/enquete/tsushin14.html>)

Q1 当社の株式を購入された動機を教えてください。(複数回答可)

- ①成長性 ②収益性 ③財務内容(安定性) ④経営理念・方針 ⑤知り合い・証券会社に勧められて
 ⑥株価(PBR) ⑦株価(PER) ⑧サービス内容 ⑨その他

Q2 (他社含め)株式の購入にあたり、参考にされている情報を教えてください。(複数回答可)

- ①日経などの新聞 ②四季報 ③インターネット情報 ④株専門誌 ⑤知り合い・証券会社に勧められて
 ⑥会社のIRサイト(説明資料など含む) ⑦企業による会社説明会 ⑧その他

Q3 今回の株主通信で必要ないと感じた記事を教えてください。

- ①P01 経営理念 ②P03 株主の皆様へ ③P03-P04 業績の概要 ④P05 その他のセグメント情報
 ⑤P06-P08 特集:不動産情報の審査に関する取り組み ⑥P9-P10 14期ハイライト ⑦P11-P12 株主アンケート集計結果のご報告
 ⑧P13-P14 株式情報/会社概要 ⑨特になし

Q4 株主通信にはどのような情報を希望されますか。

- ①社長の声 ②経営戦略 ③業績の説明 ④業績以外のトピックス ⑤業界動向 ⑥その他

Q5 株主通信の構成について、気になる点はございますか。

- ①文字が小さい ②内容が理解しにくい ③文字が多い ④専門用語が多い ⑤デザイン・色使いが見にくい ⑥特になし

Q6 当社が第14期に実施したIR活動で参考になった情報にチェックをし、コメントをご記入ください。

- ①月次開示 ②個人投資家向け説明会 ③IRフェアへの出展 ④決算説明会の開催(四半期ごと) ⑤決算説明会の動画配信
 ⑥決算説明会の要旨・Q&A ⑦コーポレートサイトのリニューアル ⑧「ネクストIRニュース」の配信 ⑨興味ない

Q7 当社のIR活動でQ6で実施した以外でほしい情報・行ってほしいIR活動を教えてください。

Q8 経営層やIR活動、またはそれ以外のご意見があれば、ご意見のある対象にチェックをし、コメントをご記入ください。

- ①経営層 ②IR活動 ③その他

※アンケートに記載いただいた事項は、当社のIR活動の参考にさせていただくものであり、その他の目的に利用するものではありません。
 ※プライバシー保護のためハガキには、お名前、ご住所、電話番号等の個人情報記載されたいようお願いいたします。

今回お答えいただいたアンケート結果は、当社発行の「ネクストIRニュース」にて随時ご報告してまいります。ぜひ「ネクストIRニュース」配信へご登録ください。

登録はこちら <http://www.next-group.jp/ir/magazine/index.html>